

CACローカル・マニフェスト事前評価シート使用マニュアル

特定非営利活動法人 自治創造コンソーシアム（CAC）
ローカル・マニフェスト評価研究委員会

○ はじめに

この「CACローカル・マニフェスト事前評価シート」は、有権者の皆様自身が、主に地方の首長選挙における候補者の掲げたマニフェストの出来栄を評価したり、比較検討する際の参考として試行的に開発したものです。

なお、ここでいう「マニフェスト」とは、今回の公職選挙法改正によって配布できるようになった「マニフェスト・ビラ」ではなく、候補者や確認団体が作成・配布している「冊子型」のマニフェストを指します。「冊子型」は、配布されていない場合、候補者あるいは確認団体のホームページで閲覧できることが多いものです。

マニフェストはさまざまな形式がありますので、このシートがうまくフィットしないものもあると思います。そうした際には、ぜひ、皆様ご自身で工夫してご自分なりの「事前評価シート」の作成にチャレンジしてみてください。

1 マニフェストのタイプ分け

評点をつけるものではなく、相対的にどのような傾向・特色を持つマニフェストかを判定するものです。

5段階に分けて、判定するとわかりやすいと思います。

1を例にとれば、「戦略性重視、やや戦略性重視、どちらともいえない、やや総合性重視、総合性重視」といった具合です。

2 マニフェストの出来栄評価

冊子などで示されたマニフェストを、具体性や明確さ、検証可能性や実現性、あるいは作成の際の住民参加や協働などの観点から、マニフェストとしての完成度・出来栄を評価するものです。点数を付けづらいときには、感想をメモしていった、比較してもいいと思います。

なお、当研究委員会は、市民自治や住民とのコミュニケーションを重視する立場から、「出来栄の評価」において、マニフェストの作成や配布に関して「住民に開かれている」点を盛り込んでいます。

3 マニフェストの内容の価値評価

独自の価値基準や視点によるマニフェストの内容の評価です。評価者自身が任意に価値基準や視点を設定していただく評価です。

例えば、「環境重視」や「福祉重視」など、ご自分が大切に思う価値基準を設定し、マニフェストにそうした政策がどのように取り上げられているかを評価するのです。

当研究委員会では、地方分権・市民自治を重視する立場から、「自治力強化」と「地域性重視」を基準・視点として採用しています。